



令和八年 八咫鳥 やたがらす

Yatagarasu
(the three-legged crow)

日時：令和7年(2025年)12月14日(日)午前10:00～午後4:00(予定)

場所：熊野本宮大社境内(雨天時：世界遺産熊野本宮館)

Date Venue: Sunday, December 14, 2025 10:00 a.m.–4:00 p.m.

Location: Kumano Hongu Taisha(Rain: World Heritage Kumano Hongu-kan)



VIKI (ヴィキ)

日本を拠点とする現代美術家

東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科卒業。レシートに熱で描く独自の画法「レシートアート」パフォーマンスを行っています。全国各地・世界中から捨てられてしまう不要なレシートを素材とし、「記憶のリサイクル」をコンセプトに制作をしています。ほか、レシートを多角的に解釈した現代アート作品を発表しています。

A Japan-based contemporary artist, he graduated from the Department of Intermedia Art, Faculty of Fine Arts, Tokyo University of the Arts. He stages live "Receipt Art" performances—his own technique of drawing by applying heat to thermal-paper receipts. Using unwanted receipts discarded across Japan and around the world as his medium, he creates works under the concept of "Recycling Memories." He also presents other contemporary pieces that explore receipts from multiple perspectives.



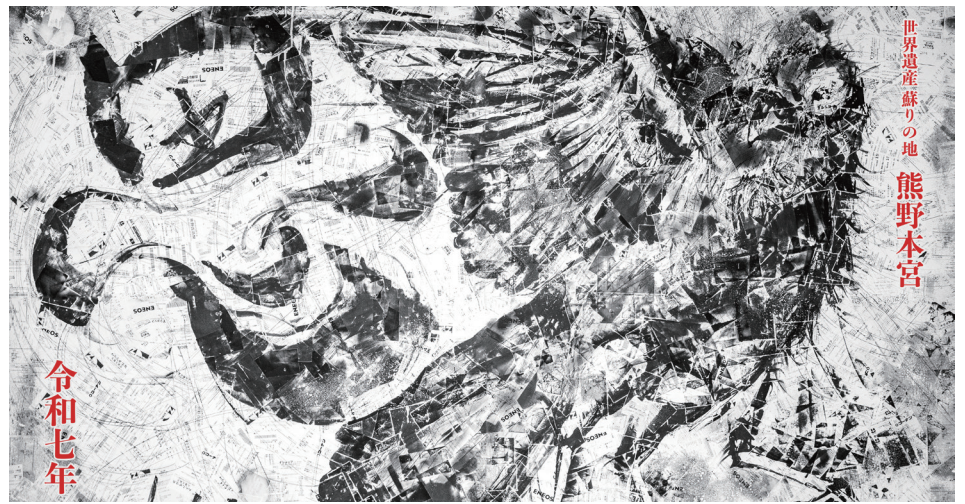
作家 SNS

令和八年「八咫鳥」 開催に向けた ご協賛のお願い

令和八年一文字揮毫

日時：令和7年(2025年)12月13日(土)午前10:00

場所：大斎原



【開催概要】

催事名：令和八年 八咫鳥（やたがらす）

日時：令和7年(2025年)12月14日(日) 午前10:00～午後4:00(予定)

場所：熊野本宮大社境内(雨天時：世界遺産熊野本宮館)

このたび、「令和8年 八咫鳥（やたがらす）」を開催する運びとなりました。本イベントは、日々の暮らしの中にある「レシート」を素材とした新感覚の表現——レシートアートと、九鬼家隆宮司による躍動的な書のパフォーマンス「揮毫（きごう）」を融合させた、類を見ないアートの祭典です。創造性と生命力にあふれた本催しが、訪れる方々の心に新たな気づきと感動をもたらすことを願っております。つきましては、本イベントの趣旨にご賛同いただき、開催に向けたご協賛を賜れますよう、心よりお願い申し上げます。

【ご協賛のお願い】

ご協賛金は、会場設営費・広報費・運営費など、イベント開催に関わる諸経費として、大切に活用させていただきます。

本企画の主旨をご理解いただき、温かいご支援を賜れましたら幸甚に存じます。

【ご協賛のお印】

ご協賛をいただいた皆様には、感謝の意を込めてレシートアート熊野本宮実行委員会からのお印をお渡します。

【主催】レシートアート熊野本宮実行委員会

【共催】熊野本宮大社

【協賛】ただいま募集中

【お申込み方法】

銀行振込：紀陽銀行 田辺支店 普通 1537548 レシートアート熊野本宮実行委員会

必要事項①お名前（ふりがな）②ご住所③お電話番号

必要事項を info@momath.co.jp にお知らせ下さい。

レシートアートとは？

全国各地から捨てられてしまう不要なレシートを集め、アイロンなどの熱を発するもので描く現代美術家 VIKI の独自画法です。時間と共に描かれた絵は薄れていきますが、VIKI は「エイジング / 熟成」と呼んでいます。私たちの記憶も熟成されていくように、時間の見えるアートとして肯定的に捉えています。そして同時に刹那的なアート体験でもあるのです。だからこそ、SDGs 目標 12「つくる責任、つかう責任」に焦点を当て、「持続可能な生産・消費形態の確保」へ意識を促します。大量のレシートが破棄されている現実と、物質的なレシートの存在に警鐘を鳴らし、いつかレシートがなくなる数年後の未来を目指しています。

感熱紙レシートはリサイクルができない素材です。全国で1年間に消費されるレシートは、およそ5.4万トン。A4サイズのコピー用紙135億枚に相当し、水質汚染や森林破壊にも影響しています。「これは自然も歴史もおざなりになっている証ではないか？と僕はもどかしくなる。」と VIKI は語ります。本イベントで発表するレシートアートパフォーマンスの作品は世界中のみなさんから不要なレシートの提供によって、熊野の再生と祈りをテーマとした作品を発表いたします。

神島屋も出店します

高校生の視点で、紀南地域の特産品でもある「紀州南高梅」のPRや消費拡大に向けた取り組みを行なっています。人気商品の「梅あられ」や「梅やきとり」は10年以上販売させていただいており、地元では大人気となっています。

和歌山県立神島高等学校商品開発プロジェクト
「神島屋」一同

